

# 斑点米カメムシ類「クモヘリカメムシ」の 発生域拡大に注意

福島県農業総合センター 生産環境部 作物保護科

## 1 部門名

水稻一水稻一病虫害発生

## 2 担当者名

松木伸浩、前原 瞳

## 3 要旨

福島県におけるクモヘリカメムシの主な発生域は、これまで浜通り沿岸部と県南地方東部であった。2020年以降は、県北地方や阿武隈高地北部でも発生が確認され、発生域が拡大している。2024年の発生調査では、これまで未確認であった郡山市内で発生が確認された。今後は、県中地方でもクモヘリカメムシの発生に注意し、防除対策を講じる必要がある。

- (1) フェロモントラップ調査の結果、既発生域に加え、過去に捕獲事例のない郡山市内の複数の調査地点でクモヘリカメムシの発生が確認された（図1）。
- (2) 県中地方平坦部は、県北、県南地方に比べ越冬が可能となる気温の出現頻度が低い（図1）、今後は、県中地方でもクモヘリカメムシによる被害粒の発生に注意する（図2）。
- (3) クモヘリカメムシの発生が多い場合は、1回目の防除を出穂期～穂揃期に実施する。

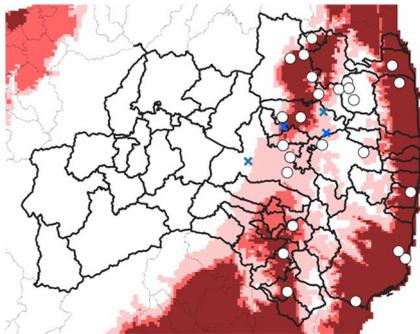


図1 クモヘリカメムシの発生と潜在的越冬可能地域

注) 2024年フェロモントラップ調査（福島県病害虫防除所調査地点を含む）  
捕獲あり○、捕獲なし×。

2月上旬の日最高気温の平均値が4.7°Cを超えた回数（2015～2024年、  
気温データ：農研機構メッシュ農業気象データシステム）

□：0～2、■：3～5、■：6～7、■：8～10



成虫（体長15～17mm）

斑点米被害粒

図2 クモヘリカメムシ成虫と斑点米被害

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 新奇・難防除病害虫に対する防除技術の確立

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 松木ら、福島県県北地方におけるクモヘリカメムシの発生と斑点米被害、北日本病虫研報、72, p.87-92, 2021.